

KITCC NEWS

23号

2021年11月

日本語能力試験N1合格者は
日本が大好きな好青年でした。

クエットさん(ベトナム)
2019年2月入国
金属塗装作業



京都府N社の5期生クエットさんは、この夏のJLPT日本語能力試験において、最難関レベルであるN1に見事合格しました。表彰式および合格者インタビューを実施すべく、N社を訪問しました。クエットさんとの約束に先立つ待ち時間を利用して、まずはY社長にお話を伺いました。

優秀な実習生だとは想像していましたが、Y社長の評価の高さに、「早く会って話を聞きたい」と、いやがおうにも期待が高まります。そうこうしているうちに約束の時間となりました。「こんにちは。失礼します。」と挨拶しながら応接室に入ってきたクエットさん。その第一印象は、「顔の絆創膏どうしたの？」でした。「ケガをしましたか？」との問いに、「吹き出物ができました」とはにかみながら答える彼の笑顔からは、ひとの良さがにじみ出ていました。好青年であることは言うまでもありません。



Q 配属当時の印象は？
A とても大人びていました。例えば、定期訪問時の日本語スピーチに対する姿勢が周りとは一味違っていました。ただ日本語で作った文章を読むだけでなく、内容もきちんと考えられており、自分なりの目標を持っているのだなと感じました。また、あるトラブルが発生した際、怒りが収まらない者を「まあまあ」となだめるといったこともありました。

Q どんな実習生ですか？
A おとなしい性格です。ムダなこともしません。何事に対してもとても積極的です。一度帰国した後にはまた当社に戻ってきたと言ってくれており、意思疎通能力が高い彼には色々な仕事をさせてみたいと思っています。

表彰式では、表彰状と奨励金に対するお礼、支えてくれた人たちへの感謝の言葉が並べられました。今回は通訳なしでの訪問だったので、全てクエットさん自身で日本語。ひとつひとつの言葉がとも丁寧で、心に響きました。表彰式の後、たくさんの質問をクエットさんに投げかけました。こちらの質問の意図を正確に汲み取った上で言葉を選びながら、適度に長い日本語で回答を返してくれました。冗長ではなくポイントがしっかりと押さえられており、クエットさんのこれまでの努力や今後のビジョン、考え方をイメージすることができました。約20分と短い時間でしたが、非常に中身の濃いインタビューとなりました。一部を紹介いたします。

Q 日本語の勉強法は？
A 毎日3時間勉強しました。耳から覚えるテキストを使って語彙を増やし、読解には過去問、聞く力はニュースやアニメを見てトレーニングしました。インターネットで勉強方法を調べ、自分に合わないようであれば自分なりの方法に調整しました。勉強しているうちに、日本語が大好きになりました。

Q 日本に興味を持ったきっかけ
A 大学生の時に、日本のビジネスマンと接する機会がありました。日本人のふるまいや働き方、考え方に影響を受け、日本に行きたいと思うようになりました。日本に来て一番驚いたのは交通の便の良さ。カルチャーショックでした。

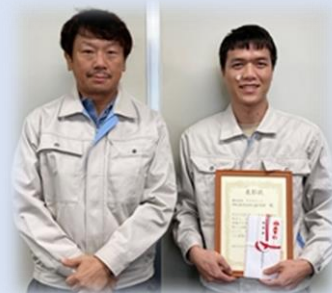
Q 次の目標を教えてください。
A 今回、初挑戦でN1に合格しました。しかし、点数には満足していません。もっと高い得点を目指して、年末に再受験します。BJTビジネス日本語能力テストにも挑戦する予定です。

このインタビューは、実習生だけでなく、日本語学習を促す立場の我々監理団体にとっても大きな気付きになりました。ただやみくもに日本語能力試験の勉強をさせても気詰まりでしょう。日本自体に興味を持ってもらい、そして好きになってもらうことが、結局は日本語学習の意欲を高めるのではないのでしょうか。ここで得たことは、今後の指導に活かしていきたいです。

クエットさんは、自分に厳しく一切妥協を許さない、日本が大好きな好青年でした。貴重なお話をありがとうございました！

実習生受け入れのコツ — 京都府N社の場合 —

クエットさんの記事では紹介しきれなかったY社長のお話です。受け入れ成功のコツをお伺いしました。



Y社長 クエットさん

Q 日本語学習に関する指導は？
A 私は一切何もやっていません。基本的なあれやこれや言うようなことはせず自由な雰囲気です。皆自分自身でよく考えてやっていきますよ。社長がいい加減なので(笑)

Q 御社は優秀な実習生が多いですが、面接のコツは？
A 面接で見極めるのは正直難しいです。あえて言うのであれば、母語での話がうまい人ですね。日本語はまだできなくても、論理的に考えて話を組み立てることができると結果的に日本語上達にもつながると考えています。あとは全体の雰囲気や表情といったところでしようか。

Y社長の基本方針は、実習生を子ども扱いせず「ほったらかし」にすること。本人のやる気や自立心を尊重されています。決して「何もやっていない」のではなく、つかず離れず見守っていたにいたるところが、実習生の成長につながっているのだと感じました。インタビューへのご協力ありがとうございました。

スタッフ自己紹介



チェン(ベトナム)
カスタマーサポート

チェンと申します。2014年来日しました。自分では厳しすぎる性格かなと思っていました。旅行・読書・料理などが大好きで、ついお金をかけてしまいがち…。現在は組合にて、企業様と実習生のサポートを行っています。SNSを通じてこの仕事を知り、以前より興味を持っていました。

仕事で気を付けていること

実習生から企業様へ、企業様から実習生へ、要望は様々です。私が最初に行うのは、どういったトラブルが起きているのか、何を期待されているのか、しっかりと話を聞くこと。そして必ず相手側にも話を聞いて「事実確認」を行います。一方からの話を鵜呑みにして

「仕事を通じて学んだこと」
企業の方や実習生に対する話し方・伝え方を学びました。それ次第で結果が変わってくることもあるので、重要なことだと思います。また、私たちに任せられている仕事は多岐に渡るため、「仕事の管理方法」も身に付きました。

これからのこと

「チェンさんはどう思いますか?」「〇〇だと思います。」「じや、そうしましょう!」という企業様とのやり取りがありました。信頼されて任せられたことが嬉しかったのを覚えています。実習生からも「まずはチェン姉さんに相談してみよう」と頼られるような存在でありたいと思っています。私と関わった3年間で、実習生ひいては企業様にとって忘れられない3年間となるよう、日々精進してまいります。

～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

Kansai Technical Cooperation Center
協同組合関西技術協力センター
一般監理団体/登録支援機関

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど...」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

発行・お問い合わせ 大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号
名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオビルディング4F
広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F



本部外観

